

阪南中学校だより

NO.11

令和8年10月9日（金）

発行：大阪市立阪南中学校長 中西 洋

特集！ 令和8年度全国学力・学習状況調査生徒質問紙調査から②

前回（校長だより NO.9）に続き、本年度4月21日（火）と23日（木）に、3年生を対象に実施されました全国学力・学習状況調査の生徒質問紙調査の結果から、今回は【学習について】のデータをもとに報告させていただきます。

○全国平均値・大阪府平均値と阪南中学校平均値を比較して

《「そう思う(当てはまる)」、「どちらかといえばそう思う(当てはまる)」等の肯定的なデータの割合から平均値を比較しました》

【学習について】

◇家庭学習について

全国より高い ↑↑ (全国より良い値を示す項目)	詳しく知りたいことがあったときに、学び方を考え、工夫することはできているか。 学校以外、1日当たり、どれくらいの時間、勉強を（1時間以上）。 授業以外に、普段、1日にどれくらいの時間読書をしますか（30分以上）。
大阪府より高い ↑	土・日などの休みの日に、1日当たり、どれくらいの時間、勉強を（2時間以上）。
全国・大阪府より低い	学校以外、1日どれくらいICT機器を勉強に使っていますか（1時間以上）。

上記の結果からは、本年度も、阪南中の生徒たちは、全国平均より高い値を示す項目が多く、1日当たり「家庭学習」の時間を設定し、しっかり取り組めている現状が見て取れます。また、1日当たりの読書する時間についても高い値を示し、阪南中の生徒たちの読書に対する意識の高さが見て取れます。読書は様々な意味で学習の基礎を支える大切なポイントになります。ICT機器の活用の推進とともに、校内でも取り組みを進め、今後、より高い値を示すことを期待したいと思います。

◇学校での学習について

全国より高い ↑↑ (全国より良い値を示す項目)	先生は、間違ったところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれる。 自分の考えを発表する機会で、自分の考えがうまく伝わるよう工夫して発表。 分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を工夫する。 学級での話を生かして、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいる。 学習した内容について、見直し、次の学習につなげることができているか。 授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけ生かしたりすることが。 国語の勉強は得意ですか。 国語の勉強は好きですか。 国語の授業の内容はよくわかりますか。 国語で、先生は、あなたの良いところや、できるようになった所を伝えてくれますか。 国語で、先生は、うまくできていない所を伝え、どうしたらできるか教えてくれますか。 数学の勉強は得意ですか。
-----------------------------	--

→裏面に続く

全国より高い ↑↑ (全国より良い値を示す項目)	数学の勉強は好きですか。 数学の授業の内容はよくわかりますか。 数学の問題の解き方がわからないときは、いろいろな方法を考えますか。 英語の勉強は得意ですか。 英語の勉強は好きですか。 英語の授業はよく分かりますか。 英語の授業では、聞いたり読んだりしたことに英語で書いたりまとめたりする活動。
大阪府より高い ↑ (大阪府より良い値を示す項目)	昼休みや放課後、図書館にどれぐらい行きますか(月に1～3回程度)。 授業で課題の解決に向けて、自分で考え取り組んでいましたか。 あなたの学級では、話し合い、互いの意見を活かして解決方法を決めている。 周りの人の考えを大切にして、協力しながら課題の解決に取り組んでいますか。 道徳の授業では、考えを深めたり、話し合ったりする活動に取り組んでいる。 各教科で学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行った。 自分で課題を立てて情報を集め整理して、発表する学習活動に取り組んだ。 英語の授業では、聞いたり読んだりしたことに生徒同士で意見を述べ合う活動が。
全国・大阪府より低い	話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたりすることができていますか。

阪南中学校では、本年度も継続して新たな学びに対応する授業づくりのため授業研究を重ね、併せて、「わかる授業」の実現に取り組んでいます。上記の結果からは、質問項目に上がっていた**国語・数学**、本年度は**英語**の授業についても、「よくわかる」「大切だと思ふ」等の教科に関わる全ての項目について、何れも高い値を示しています。

◇タブレットの活用等について

全国より高い ↑↑ (全国より良い値を示す項目)	PC・タブレットなどのICT機器で文章を作成することができると思うか。 インターネットを使って情報を収集することができると思うか。 PC・タブレットなどのICT機器を使って情報を整理することができると思うか。 ICT機器を使って学校のプレゼンテーションを作成することができると思うか。
大阪府より高い ↑	総合的な学習の時間で、PC・タブレットを使って、情報を集め、整理し、発表できている。
全国・大阪府より低い	ICT機器を、どの程度使用しましたか(週3以上)。

本年度の**PC・タブレットなどのICT機器を使って、「文章を作成する」「情報を収集する」「情報を整理する」「学校のプレゼンテーションを作成する」**等、生徒のICT機器の活用にかかわる項目については、高い値を示しながら、「**ICT機器を、どの程度使用しましたか(週3以上)。**」というような、実際の授業でのICT機器の活用については、66ポイントと昨年の2倍の高い値を示しながら、全国・大阪府より低い値となっています。このことは、生徒の個別の端末(タブレット)の活用について、まだ十分進んでいない状況を示し、阪南中学校全体で、授業や総合・学活での活用が、生徒からも求められ、さらに取り組みが必要であることを示しています。

対話的で主体的で深い学びやICT機器の活用に取り組むことで、生徒たちが学習に高い意欲をもって臨むことが、生徒の学力(生きる力)に繋がります。生徒たちが、さらに「前向き」に日々の授業に取り組めるよう、工夫や改善を進め、阪南中学校は、新しい学びへのチャレンジをこれからも続けていきたいと考えています。